

青野原

【発行】
防衛協会青野原
駐屯地連合会
【印刷】
齋前田精版印刷所

駐屯地司令要望事項

融和団結
地域とともに

群長要望事項
目的を明確に



AONOGAHARA
JGSDF

令和7年度 自衛官候補生課程入隊式



▲宣誓を読み上げる自衛官候補生



▲執行者式辞



▲初々しい姿の自衛官候補生



▲来賓の方々との記念撮影

第8高射特科群は、4月上旬、駐屯地において「令和7年度自衛官候補生課程入隊式」を挙行了した。
式には、来賓として加東市長をはじめ、各防衛協会会長、近隣地区の家族会会長、隊友会支部長、駐屯地OB会の青桜会会長、自衛隊兵庫地方協力本部長、近隣地区の募集地域事務所長、防衛モニター及び駐屯地モニターが参列し、23名の自衛官候補生を温かく祝福した。
ご家族も見守る中、宣誓では緊張を打ち破るかのような自衛官候補生の力強い声が会場に響いた。
執行者 小林1佐は式辞において「目的を理解し果敢に挑め」「同期との絆を大切にせよ」の2点を要望するとともに「今、自衛官候補生として宣誓した諸官らは、与えられる立場から与える立場へ、人に助けてもらう立場から人を助ける立場へと変わることになる。そのために必要なことは、本教育で実施される課目それぞれの目的を理解することと、失敗を恐れずチャレンジすることである。（中略）これからの三か月は、諸官の輝かしい自衛官人生のスタートとなる、貴重な日々の連続となる。最初は戸惑うことも多いと思うが、失敗を恐れず、同期と共に前向きに教育に励むように。」と激励の言葉を贈った。
自衛官候補生は、自衛官としての基礎を学びつつ同期との絆を深める、約3か月間の教育の門出を切った。

令和6年度 南海レスキュー



▲近畿管区警察局との連携訓練の様子

第8高射特科群は、1月中旬、中部方面隊が実施した「令和6年度南海レスキュー」に参加した。
本訓練では、南海トラフ地震等発生時における孤立地域での防災直後の初動対処を重点とし、実動による対処行動を演練した。
群は、第3師団管轄部隊及び関係機関との情報共有を図るとともに、警察施設を活用した人命救助訓練を実施し、専門的識能及び震災対処能力の向上を図った。



▲防衛協会青野原駐屯地連合会会長挨拶



▲乾杯の様子

令和7年新春互礼会

青野原駐屯地及び防衛協会青野原駐屯地連合会は、1月中旬、小野市うるおい交流館エクラにおいて「令和7年新春互礼会」を開催した。
近隣の市町長、県議会議員、市町議会議員、官公庁関係者、防衛協会会長、各自衛隊協力会会長、駐屯地のOB会たる青桜会の会長等、111名の来賓が一堂に会し、盛大に開催された。
会は終始和やかな雰囲気の中、参加者は相互に親睦を深めるとともに、関係機関及び協力団体との理解促進を図り、結束を強めた。

令和7年度 防衛モニター及び駐屯地モニター委嘱状交付式

青野原駐屯地は、4月上旬、防衛モニター及び駐屯地モニター委嘱状交付式を実施した。



▲委嘱状交付式の様子



▲記念撮影

駐屯地及び各モニター事業の概要を説明した後、委嘱状交付式を実施し、その後自衛官候補生の入隊式を見学した。
各モニターには、一年を通じて駐屯地の各行事を見学してもらう等、当駐屯地の活動に対して様々な助言をいただく予定である。

令和6年度 第2次野外行動訓練検閲

第8高射特科群は、2月上旬、第339高射中隊（中隊長 横田3佐）及び第343高射中隊（中隊長 假屋3佐）に対し、高射特科群隷下の高射中隊の行動を課目とする「令和6年度第2次野外行動訓練検閲」を実施した。

統裁官 小林1佐は、検閲に先立つ訓示において「必ず任務を完遂せよ」「安全管理に万全を期せよ」の2点を要望し、「我々高射特科部隊に与えられた任務の完遂なくしては、国土防衛は成立しないと肝銘せよ。いかなる状況が生起しようとも、万策尽くして対空戦闘を実施できる態勢をとれ。弾を出せ。我々の存在意義を示せ。」と述べ、受閲部隊の奮起を促した。

各級指揮官は、いかなる状況下においても戦況を的確に判断して隊員の状況を把握し、適時適切な命令を与え、中隊を指揮するとともに、関係部隊との連携・協力を密にして任務を完遂した。

群は、本検閲から得た教訓を糧とし、引き続き実戦的な訓練を通して更なる進化を続ける。

優秀隊員

第339高射中隊

- 訓練陸曹 小野寺2曹
- 通信班長 中島2曹
- 指揮班長 南2曹
- 発射陸曹 中島3曹

第343高射中隊

- 人事陸曹 礪網2曹
- 通信班長 菅3曹
- 射統陸曹 岸本3曹
- 発射陸曹 藤原3曹

必ず任務を完遂せよ



方面隊対空戦闘訓練

第8高射特科群は、2月中旬、航空自衛隊小松基地において「令和6年度方面隊対空戦闘訓練」を担任・実施した。各師・旅団高射特科部隊の各装置を接続した協同対空戦闘、携帯地对空誘導弾（P・SAM）の操作法等訓練及び対空警報等の伝達を演練し、方面隊の対空作戦遂行能力の向上を図った。



▲訓練開始式の様子



▲携帯地对空誘導弾(P-SAM)操作訓練の様子

至近距離射撃競技会及び炊事競技会

第302高射直接支援中隊（中隊長 寺澤1尉）は、1月下旬、中部方面後方支援隊が実施した「令和6年度至近距離射撃競技会及び炊事競技会」に参加した。競技は至近距離射撃及び炊事に分けて実施され、それぞれの競技において選抜された隊員が出場し、13個部隊対抗で競い合った。

至近距離射撃において坂井3曹が個人の部で優勝の成果を収め、本競技会を通じ、戦闘戦技能力の向上及び部隊の団結を深めた。



▲至近距離射撃競技会個人の部で優勝した坂井3曹(中央)、第302高射直接支援中隊長(左)、先任上級曹長(右)



▲炊事競技会の様子

西脇市合同防災訓練

第8高射特科群は、12月中旬、西脇市役所及び西脇東中学校において「西脇市合同防災訓練」に参加した。本訓練では、災害対応拠点の開設から運営に係る諸活動を演練するとともに、関係機関と連携して災害対応能力の向上を図った。

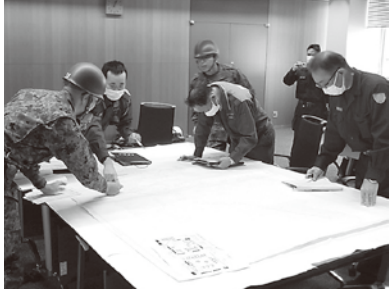
また、装備品等を展示し、自衛隊の災害派遣活動に対する理解促進に努めた。



▲会場の様子



▲装備品展示の様子



▲関係機関との情報連携訓練の様子

予備自衛官招集訓練

第8高射特科群は、1月下旬、「令和6年度第2回予備自衛官招集訓練」を実施した。

精神教育、体育訓練、救急法及び野外衛生訓練、特殊武器防護訓練、基本教練、災害対応訓練等を実施し、予備自衛官として必要な知識及び技能を習得させ、練度の維持・向上に努めた。さらに訓練を通じて予備自衛官同士の団結を強化した。



▲駐屯地警備訓練の様子



▲救急法及び野外衛生訓練の様子

令和6年度12月新隊員特技課程及び一般陸曹候補生課程後期教育修了式

第8高射特科群及び第302高射直接支援中隊は、2月中旬「令和6年度12月新隊員特技課程及び一般陸曹候補生課程後期教育修了式」を挙行了した。
教育を修了した隊員はそれぞれの中隊へ配属され、教育で学んだ知識・技能を更に磨き、職種のプロフェッショナルを目指す。



▲修了式の様子(第8高射特科群)



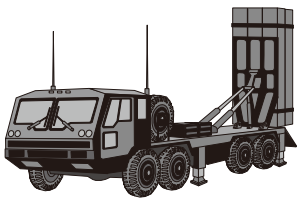
▲成績優秀隊員の表彰(第302高射直接支援中隊)

防衛協会活動状況

防衛協会青野原駐屯地連合会

防衛協会青野原駐屯地連合会は、3月22日、駐屯地において「令和6年度防衛協会青野原駐屯地連合会総会」を実施した。

総会では令和6年度事業報告、収支決算報告、令和7年度事業計画案及び収支予算案について審議され、過半数以上の賛同をもって可決した。



こどもおしごと

体験支援

小野市うるおい交流館エクラ(兵庫県小野市)において、第8高射特科群本部管理中隊が支援した。



各種支援の様子

各種支援を通じ、陸上自衛隊及び駐屯地に対する理解促進及び信頼と協力を得るために広報活動を行っています！

小野ハーフマラソン

2024支援

小野市うるおい交流館エクラ(兵庫県小野市)において、中部方面後方支援隊第302高射直接支援中隊が支援した。



第17回西脇多可新人高校駅伝競走大会支援

北はりま田園ハーフマラソンコース(兵庫県西脇市)において、第8高射特科群第343高射中隊が支援した。



ひょうご安全の日

丹波地域のつどい支援

丹波市立竹山小学校(兵庫県丹波市)において、第8高射特科群第339高射中隊が支援した。



第4回社協まつり支援

加西市健康福祉会館(兵庫県加西市)において、第8高射特科群第343高射中隊が支援した。



兵庫県警察フェニックスレスキュー競技大会支援

兵庫県警察緊急自動車総合訓練センター(兵庫県小野市)において、中部方面後方支援隊第302高射直接支援中隊が支援した。



